

新型コロナウイルスが流行で、令和2年度は様々なことに制約のある1年となりました。当センターの活動でも様々な場面で影響を受け、思うように支援や活動をできないことも多々ありました。

一方で、早良区内の障がい者支援事業所ネットワークである“凸凹ネットさわら”では、オンラインを活用し、会議や事例検討を行っています。直接顔を合わせることが難しい中で、できることに取り組んでいます。このようなご時世ですが、新しいことにもチャレンジしていき、地域の障がいをお持ちの方のお役に立っていきたいと思います。

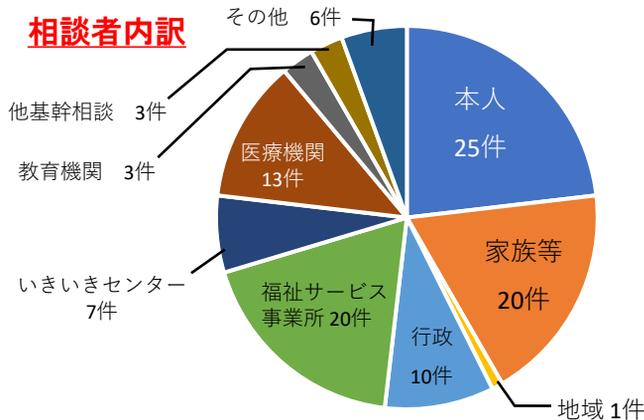
令和2年度の新規相談と内訳について

新規相談件数 (108件 うち継続対応69件)

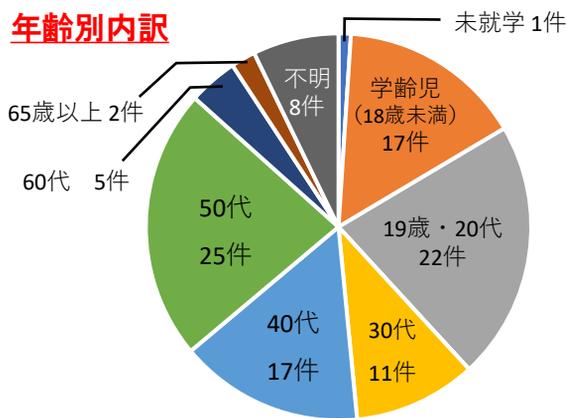
障がいの内訳

身体障がい	: 22件
知的障がい	: 17件
精神障がい	: 65件
難病	: 2件
不明	: 2件

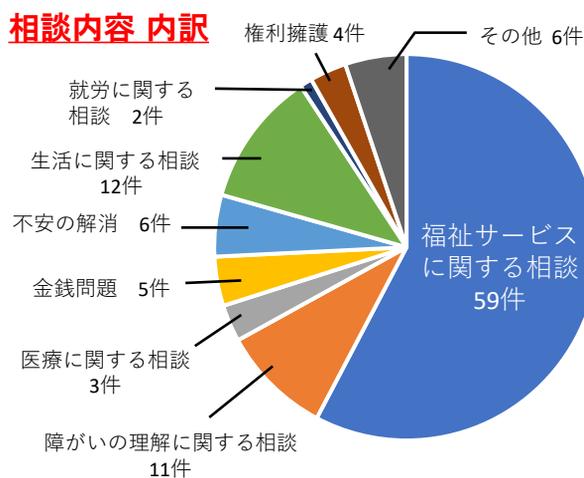
相談者内訳



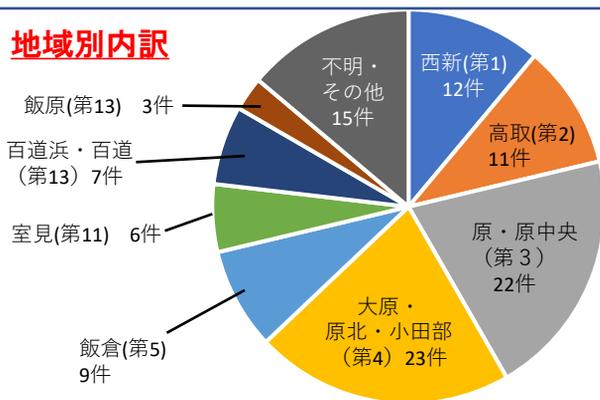
年齢別内訳



相談内容内訳



地域別内訳



今年度の新規相談の特徴

※昨年度に比べ、30代の方の相談が減り(20件→11件)、それに対して学齢児の相談が増えています(3件→17件)。
 ※相談内容で特に多いのが、福祉サービスに関する相談でした。その中でもグループホーム・施設入所に関する相談、就労サービス(移行支援、A型、B型)の相談、ヘルパーの利用の相談が各10件以上あり、過半数(33件)を占めています。
 ※生活に関する相談のうち、住まいの相談(アパート探し等)が昨年度に比べ増えています。(2件→7件)
 ※いきいきセンターからの相談(7件)のうち、80-50問題に該当するケースは3件ありました。



◆連絡先



電話、FAX、来所、訪問等 ご希望に合わせて対応します。

TEL:(092)847-2764/FAX:(092)847-2765 E-mail momo@fc-jigyoudan.org

早良区第1障がい者基幹相談支援センター(福岡市早良区西新7丁目15-9)

発行元 福岡市社会福祉事業団

発行月:令和3年1月